

金融経済教育推進機構(通称『J-FLEC』ジェイフレック)は、国民に広く金融経済教育を届けることを目的に設立された、金融庁所管の認可法人です。



応募の注意点

●文字数について 空白を含む1,200～2,000字(作品タイトル・学校名・学年・氏名・参考文献・出典は含みません)

応募前に必ず見てね!

作文を書くときのポイント動画



原稿用紙で
書くなら

400字詰め原稿用紙
※タテ20字×ヨコ20行
4枚目3行目以上記入



パソコン原稿で
書くなら

1行20字詰め
※1枚につき30行以内

◎作品募集ホームページ(<https://ron2026.j-flec.go.jp/>)にある応募用原稿用紙をご利用になることもできます。

●応募について

個人で応募する場合	・下記応募用紙に記入してください(応募用紙はコピー可)。 ・作品タイトル、氏名(ふりがな)、学校名(ふりがな)、学年、学校および自宅の住所、電話番号、FAX番号、メールアドレスを記入して作品に添付してください(応募用紙は必ず本人が記入してください)。
学校単位で応募する場合	・学校宛てにお送りしています学校専用応募用紙にてご応募ください。 (学校専用応募用紙はホームページ< https://ron2026.j-flec.go.jp/ >からダウンロードすることもできます) ・下記応募用紙(個人用)は不要です。

◎応募は未発表の作品に限ります(インターネット上での作品公開も発表とみなします)。また、二重投稿はご遠慮ください。

◎日本語に限ります。

◎作品は理由を問わず返却しません。

◎入賞作品の著作権・版権は主催者に帰属します。

◎佳作の作品は公表しません。

◎作品公表の際には個別企業名や商品名に関する表記を変更させていただくことがありますので、予めご了承ください。

※応募の際は、下記個人情報の取り扱いについて保護者の方にもご確認いただいたうえでご応募ください。

個人情報の取り扱いについて●応募者の個人情報は、入賞作品の選考、入賞者への連絡のためにのみ使用し、主催者および当コンクール業務受託先が責任をもって管理します。●応募者本人または保護者の許可なく第三者に個人情報を開示することはありません。ただし、法律や法的拘束力のある命令等に基づいて開示が要求された場合については、その要求に応じることがあります。●入賞者の氏名・学校名・学年および作品の一部は、主催者ホームページにて公表させていただきますので、予めご了承ください。



キリトリ

第59回「おかねの作文」コンクール 応募用紙(個人用)

作品タイトル		
ふりがな 氏名	ふりがな 学校名	学年
立		年
学校住所 (〒 -) 都 道 市 区 府 県 郡		
学校電話番号 () -	学校FAX番号 () -	
自宅住所 (〒 -) 都 道 市 区 府 県 郡		
電話番号(日中連絡の取れる先) () -	メールアドレス	

下記のアンケートにご協力ください! このコンクールはどちらで知りましたか。番号を○で囲んでください。(複数回答可)

1. チラシ・ポスター(学校) 2. チラシ・ポスター(学校以外) 3. 新聞・雑誌・WEB広告(媒体名)
4. ホームページ 5. 知人から 6. 学校・先生(夏休み等の課題・宿題) 7. その他 ()

※応募者の個人情報は当コンクール以外の用途には使用しません。

第59回

お金の知識をあなたの力に



おかねの作文 コンクール



金融経済教育推進機構(J-FLEC)は、
全国の**中学生**を対象に

「**おかねの作文**」を募集します。

テーマは、「おかね」に関する

ことであれば自由です。

自分にとっての「おかね」について
考えてみてください。

学校単位で応募する場合は、
作品の確認・添削は行わずに
提出された作品はすべてお送りください。

個人の方からのご応募お待ちしております!

特選

5編 賞状と図書カード4万円分
金融担当大臣賞 / 文部科学大臣賞
日本銀行総裁賞 / 日本PTA全国協議会会長賞
J-FLEC理事長賞

秀作

5編 賞状と図書カード2万円分

佳作

10編 賞状と図書カード3千円分

学校賞

5校 賞状と図書カード1万円分

特選受賞者在籍校

締切 **9月15日**
消印有効

(主催) 金融経済教育推進機構(J-FLEC)

(後援) 金融庁、文部科学省、日本銀行、公益社団法人日本PTA全国協議会、日本私立中学高等学校連合会、
全国都道府県教育委員会連合会、全国市町村教育委員会連合会

作品募集
ホームページ



募集
テーマ

テーマ（作文に書く内容）は、「おかね」に関することであれば、どのようなものでも構いません。
テーマを考えたときの参考として、以下に例を示します。ただし、この中から選ぶ必要はありません。自分が書きたいと思う内容を自由に考えてみてください。
テーマを決めた後、作文の内容にふさわしいタイトル（題）をつけてください。

■テーマの例

1. 将来の夢の実現とおかねの関わり
- あなたの将来の夢は何ですか。やってみたい仕事はありますか。あなたが思い描く未来を実現するために、どのようなことを心がけ、準備をしていったらよいでしょうか。あなたの「将来設計」を、おかねとの関わり方を含めてまとめてみましょう。
2. 私のおかねのルールやわが家の約束事
- あなた自身やあなたの家族で決めているおかねについてのルールはありますか。商品を買うときに心がけていること、携帯電話の使い方、お小遣いのルールなど、消費者として行動の基準としている点を整理してみましょう。
3. 活きたおかねの使い方とは
- おかねの使い方は、その人の価値観や考え方を表すとともに、多少なりとも世の中に影響を与えます。買い物や貯金などについての自分自身の体験や、周囲の人のおかねの上手な使い方について書いてみましょう。

■第59回「おかねの作文」コンクール 募集要項

応募資格	中学生
賞	■特選5編(賞状と図書カード4万円分) 金融担当大臣賞／文部科学大臣賞／日本銀行総裁賞／日本PTA全国協議会会長賞／J-FLEC理事長賞 ■秀作5編(賞状と図書カード2万円分) ■佳作10編(賞状と図書カード3千円分) ■学校賞(特選受賞者在籍校)5校(賞状と図書カード1万円分)
締め切り	2026年9月15日(火)※消印有効
発表	12月中旬頃、主催者ホームページで発表。
応募方法	〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-17 5F 毎日企画サービス J-FLECコンクール事務局「おかねの作文」コンクール係 作品募集ホームページの応募フォームから送信してください。 https://ron2026.j-flec.go.jp/
問い合わせ先	J-FLECコンクール事務局 TEL.03-6265-6818(土・日・祝日を除く10時～17時) 作品募集ホームページ https://ron2026.j-flec.go.jp/

前回
審査員
(敬称略)

鎌田 秀明(金融庁総合政策局総合政策課金融経済教育推進室課長補佐) 藤野 敦(文部科学省初等中等教育局視学官)
太田 敬介(公益社団法人日本PTA全国協議会会長) 中嶋 富美代(全日本中学校国語教育研究協議会会長)
高橋 桂子(実践女子大学生生活科学部教授) 石本 貞衡(葛飾区立堀切中学校主幹教諭)
渡来 拓(日本銀行情報サービス局総務課長) 大友 佳子(金融経済教育推進機構理事)

■作文指導にあたり、先生方から生徒たちへ伝えていただきたいこと

「金融経済教育」は、経済的に自立し、より良い生活を送るために必要なお金に関する知識や判断力(金融リテラシー)を身に付けることなどを目的としています。最低限身に付けるべき金融リテラシーは、①家計管理、②生活設計、③金融知識及び金融経済事情の理解と適切な金融商品の利用選択、④外部の知見の適切な活用、の4分野に分かれています。作文を書くにあたっては、生徒たちへ上記のテーマの例などを参考に、身の回りのお金や自分の将来に目を向け、考えたことを書くようご指導ください。



受賞作品の紹介

過去の入賞作品はこちらでご覧いただけます。



金融担当大臣賞
ありがとうの循環
京都府 洛星中学校 1年
足立 悠貴さん

普段儉約家な母が購入した高価なブラウス。それは支援が必要な女性たちを支えるブランドの品でした。母の言葉や行動を通じ、筆者はお金とは単なる消費の道具ではなく、「誰かを応援し感謝を循環させるもの」だと気づき、自分も誰かのためになるお金の使い方をしたいと決意します。「ソーシャルビジネス」という着眼点が良く、文章構成も読みやすい」と評価されました。

文部科学大臣賞
カードはまだ、財布の中で。
東京都 ドルトン東京学園中等部 2年
猪谷 三玲さん

父から海外短期留学用に4万円が入ったカードを渡された筆者は、現地での経験を話し、カードは「道具」ではなく「決断」の象徴と捉え直します。帰国後、カードの残金を自分で管理することになり、今までとは違う「自分の責任で使うお金」の重みと日々向き合っています。「実体験を踏まえ、自分の責任で使うお金の重さを感じた心境の変化を上手に表現した」と評価されました。

日本銀行総裁賞
ベトナムドンはどうして桁数が多いのか
神奈川県 慶應義塾普通部 3年
大谷 悠馬さん

ベトナム紙幣の桁数の多さに着目した筆者は、国の歴史や経済状況によって通貨の価値が変化することを学びます。当たり前に使っている日本円の価値は経済の安定の上に成り立つのだと気づき、インフレにならないよう、経済の安定に努め、物の価値を大切に暮らすことが大事だと結びます。「難しいインフレの概念が素直な言葉で表現され、深く理解できている」と評価されました。

日本PTA全国協議会会長賞
最後のお小遣い
千葉県 千葉県立東葛飾中学校 3年
又多 嶺さん

筆者は幼い頃から、祖母がくれる手紙とポチ袋のお小遣いを、使わずに大切に保管してきました。疎遠になった時期を乗り越えて、祖母の他界後、最後の手紙とポチ袋を受け取った筆者は、祖母の深い愛に胸を打たれ、いつかその思いに応える形でお金を使うと心に誓います。「中学生らしい率直な思いが描かれた心温まる作品。感謝へ繋げる文章の運びも素晴らしい」と評価されました。

J-FLEC理事長賞
多忙な「貯金箱」
福岡県 福岡市立高取中学校 2年
西原 玲恵さん

母の誕生日に向けてお小遣いを貯めていた筆者は、誘惑に負けてお金を使ってしまった、予定よりも小さいケーキを買うことに。お金を「貯める」と「使う」のバランスの重要性を痛感した筆者は、自身の行動を振り返り、来年こそ最高の感謝を届けたいと決意します。「家庭内の経験と反省から、今後のお金の使い方を考えており、心の成長が感じられる」と評価されました。

秀作
佐賀県 佐賀大学教育学部附属中学校 2年
江口 琉那さん

山形県 山形市立第五中学校 3年
紺野 碧生さん

東京都 中央区立晴海中学校 3年
鄭 星来さん

静岡県 静岡市立城内中学校 3年
山本 陽菜さん

兵庫県 加古川市立氷丘中学校 3年
池上 由麻さん

作文を書くにあたってのご注意

- 本文冒頭1行目に作品タイトル、2行目に学校名、学年、氏名を記入してください。
本文は3行目から始めてください。
- 学校名が長い場合、本文は4行目(学年、氏名を記入した次の行)から記入してください。
- 規定文字数に達しない作品は審査の対象となりません。
- ※原稿用紙によらないパソコン原稿の場合も同様です。
- 各ページにページ番号を記載し、右肩をホチキスで留めてください。
- 生成AIが作成した文章をそのまま使っての応募はできません。
- ご応募いただいた作品が「盗用」・「生成AIによる生成物」であると認められた場合、審査の対象外となります。また、後日判明した場合は、入賞の取り消しをさせていただきます。

- 参考文献の明記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
- 参考にした文献(書籍、インターネット等)はすべて、作文の最終ページに必ず記入してください。記入せずに他の人の文章を使用することは「盗用」とみなされてしまうことがあります。
- 引用するときの注意点・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
- 引用する文章は変更せず、かぎ括弧をつけて自分の文章と明確に区別したうえで、作文の最終ページに必ず出典を記載してください。
 - かぎ括弧や出典の記載をせずに、インターネット等で入手した他の人の文章を書き写して作文を作成することは「盗用」とみなされてしまうことがありますので、注意しましょう。

〈最終ページ〉
書籍の場合
○校目○行目(応募作品中該当箇所)・著者名「書籍名」出版年・出版元、参照または引用したページ
インターネットの場合
○校目○行目(応募作品中該当箇所)・著者名「タイトルURL」閲覧日

本文
○1行目 作品タイトル
○2行目 学校名、学年、氏名
○3行目 本文

本文冒頭の記入方法

必ず見てね!
作文を書くときのポイントと注意点をまとめました。
応募の前に必ずチェックしてください。

動画でcheck!
作品を書くときのポイント

気をつけてほしいこと

QRコード

(記入例)